

平成23年1月21日

各 位

会社名 カルナバイオサイエンス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
 (コード番号：4572)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 相川 法男  
 (TEL：078-302-7075)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年8月6日に公表した平成22年12月期の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成22年12月期通期業績予想数値の修正（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

##### (1) 連結

(単位：百万円)

|                             | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回公表予想 (A)                  | 740   | △344 | △315 | △344  | △5,868.78円     |
| 今回修正予想 (B)                  | 571   | △398 | △370 | △397  | △6,763.88円     |
| 増減額 (B - A)                 | △168  | △53  | △54  | △52   |                |
| 増減率 (%)                     | △22.7 | —    | —    | —     |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成21年12月期通期) | 687   | △344 | △349 | △315  | △5,873.72円     |

##### (2) 個別

(単位：百万円)

|                             | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回公表予想 (A)                  | 669   | △337 | △308 | △337  | △5,744.77円     |
| 今回修正予想 (B)                  | 531   | △380 | △352 | △379  | △6,465.08円     |
| 増減額 (B - A)                 | △137  | △43  | △44  | △42   |                |
| 増減率 (%)                     | △20.6 | —    | —    | —     |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成21年12月期通期) | 633   | △350 | △355 | △321  | △5,983.55円     |

#### 2. 業績予想修正の理由（平成22年12月期通期）

平成22年12月期における創薬支援事業の売上高は、国内においては従来より取り組んでまいりました既存顧客への深耕、提案型営業の推進等により、前回公表予想を概ね達成する見込みであります。しかしながら、米国及び欧州での売上が、主に、円高ドル安・ユーロ安による売上高の減少、一部で回復基調は見られたものの欧米の大手・中堅製薬企業再編に伴う予算執行の停滞、米国におけるキナーゼタンパク、プロファイリングサービスの低価格化並びに新規顧客開拓の遅滞等により伸び悩んだことから、前回公表予想を下回る見

込みであります。前回公表予想売上高に対する各地域別の達成率は以下の通りであります。

(単位：百万円)

| 地 域 | 売上高        |            | 達成率 (B/A) |
|-----|------------|------------|-----------|
|     | 前回公表予想 (A) | 今回公表予想 (B) |           |
| 日 本 | 321        | 317        | 98.9%     |
| 北 米 | 182        | 137        | 75.3%     |
| 欧 州 | 84         | 59         | 70.3%     |
| その他 | 31         | 29         | 92.8%     |
| 計   | 620        | 543        | 87.7%     |

次に、創薬事業につきましては、各創薬プログラムの早期導出を計画し、製薬企業等へのライセンスアウト交渉を進めてまいりましたが、当事業年度内に契約締結交渉が完了しなかったことから、売上高は前回公表予想を92百万円下回る27百万円の見込みであります。

以上の結果、平成22年12月期通期の売上高は、前回公表予想を168百万円下回る571百万円となる見込みであります。これに伴い、売上総利益は151百万円減少する見込みであります。業務の効率化や諸経費の削減等により販売費及び一般管理費を圧縮したことから、当期における営業損失は前回公表予想比53百万円増の398百万円、経常損失は前回公表予想比54百万円増の370百万円、当期純損失は前回公表予想比52百万円増の397百万円となる見込みであります。

なお、個別業績予想の修正につきましても、連結業績予想の修正と同様の理由によるものであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以 上